

吹田民主商工会 いんぷお め〜しよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
<http://www.suita-minshou.com>
suita-ms@jamine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

消費税増税強行に怒りの宣伝行動

消費税増税が強行実施された10月1日に消費税廃止吹田連絡会が呼びかけて増税に抗議する署名宣伝行動を行い、5団体から25名が参加しました。参加者は一度さんくす広場に集合。よびかけの代表として民商の工藤会長から「増税の暴挙に立ち向かおう」と挨拶し、イオン吹田店前とJR吹田駅東口の2か所に分かれて行動しました。宣伝では消費税の5%への減税を求める新しい署名への協力を呼びかけました。街の反応では消費税が上がった後でどうしようもないという諦めの反応もありましたが、がんばってという声援がありました。署名にに応じてくれた女性は「お金持ちが税金を払ってくれば消費税なんていらぬ」と話してくれました。



介護保険制度の改善を求めて懇談

10月4日に吹田生健会と全日本年金者組合吹田支部が介護保険料の不服審査請求の集団提出と吹田市高齢福祉室との懇談が行われました。懇談には23名が参加しました。懇談の前に生健会と年金者組合の会員58名の保険料に対する不服審査請求を提出されました。



懇談では日本年金者組合吹田支部の執行委員長 辻口さんから「いま若い世代である職員さんもいつかは介護保険を利用するときに来ます。いま制度が悪くなれば将来保険を利用する若い世代にとっても大変なこと。頑張ってほしい。」と挨拶されました。保険料の算定や減免制度、介護サービス利用の仕組みや利用料減免など広く意見が交わされました。保険料では累積赤字である保険積立基金や国からの交付金を活用して保険料全体を引き下げることや、所得1千万円を超える被保険者から保険料を負担してもらうことで中低所得者の保険料を下げてほしいとの意見には、市は検討する要件として考えていきたいと回答。特別養護老人ホームの増設を求める意見では、市は現在の計画を説明しましたが、緊急を要する人がすぐに入所できない状況は早急に改善が必要と声が上がりました。また市は増設が進まない理由として介護人材の不足や吹田独自の課題として土地が高いことに対する施策を進めていることも回答がありました。

大青協総会 青年部の魅力と役割を交流

10月6日に大商連青年部協議会の総会が大商連で開催されました。特別企画として千葉県連青年部協議会議長・全国青年部協議会副議長の伊丹 濯(あろう)さんに「業者青年の県交渉、青年部の魅力・役割」をテーマに千葉県の青年部協議会の活動についてお話を聞くことができました。伊丹さんは民商に入会したきっかけからお話しされ、まわりに商売している知人がいない中でフリーのイラストレーターで起業を決意。民商を知っていた会社社員の父に勧められ民商に相談。その中で業者青年の全国会議(当時は宮城県で開催)に同行で参加して、全国の業者青年の熱い思いに驚きそのまま入会したと話されました。千葉県の活動では、青年部として初めて県との商工交渉に挑戦し、自分達の要望を整理し県・国に求めることを主張できたとお話しされました。また平和・反戦の活動では、幕張メッセで武器見本市が開催に対して最寄駅の前で5mの布に恐竜のイラストを塗り、通行人に「反戦のメッセージ」を書き込んでもらうアピールをし、署名とは違った切り口でアピールでき反応もよかったです。警察との対応で憲法の「表現の自由」を事前学習して交渉できたとお話しされました。その後、大阪の各民商青年部の活動報告があり、宮下青年部部長から「すいみんビジネスインデックス」の取材の苦労やボーリング、バーベキューランチのリクレーション、よつといで祭では青年部と青年部役員で4ブースの出店ができ暑いながらもたくさんのお客さんに来て頂いた活動の内容の報告をいただきました。最後に来期の活動内容と新役員の提案があり賛成多数で承認されました。



伝言板

国保・住民税の分納減免相談日

10月24日(木) 14時00分 吹田市役所ロビー集合
相談を希望される方は10月21日までにご連絡ください。

吹田民商のLINE公式アカウント

吹田民商でLINEの公式アカウントを取得しました。
学習会などの案内アナウンスや簡易なご相談の対応で当面テスト運用を行います。



@182rbqtj

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともいっ!